



モニタリングサイト1000

モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査 ニュースレター



環境省自然環境局生物多様性センター / NPO法人バードリサーチ

2015年 秋期概要

2015年秋期の結果概要

モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査の2015年度秋期概要をお知らせします。

秋期の個体数は過去最小に

2015年度秋期調査は、2015年8月1日から2015年9月30日までの期間実施されました。115ヶ所の調査サイトで調査が実施され、このうち一斉調査(9月13日を基準日とした前後1週間の調査)への参加は90ヶ所でした。一斉調査期間では、シギ・チドリ類44種9,446羽、ヘラサギ4羽、クロツラヘラサギ9羽が記録され、秋期の全サイトの最大個体数(調査期間内に記録された各種個体数の最大値)の合計では、シギ・チドリ類52種28,175羽、ヘラサギ10羽、クロツラヘラサギ22羽、ズグロカモメ1羽が記録されました。

2000年からの「全サイトの最大個体数の合計」、「連続して調査が継続されているサイトの最大個体数の合計」を図1に示します。全サイトの最大個体数の合

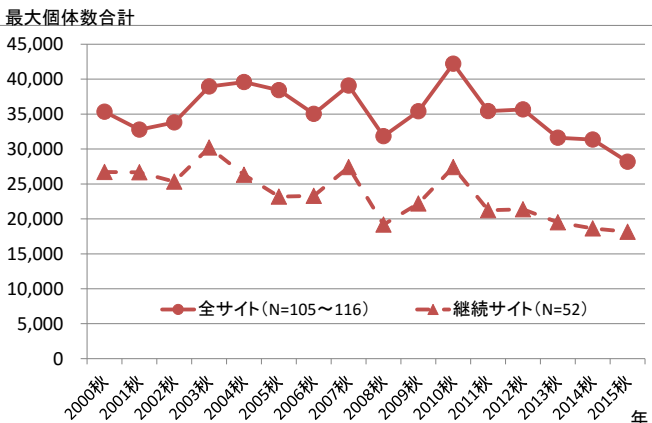


図1. 秋期調査における全サイトと継続調査しているサイトの最大個体数合計の推移

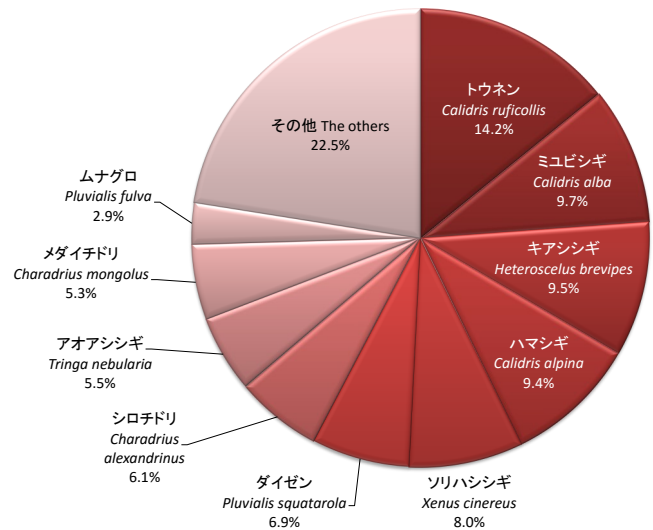


図2. 2015年秋期調査の優占種

計は、前年度秋期と比べ約3,000羽減少(-10%)し、28,175羽となり、継続サイトでは、前年度秋期と比べ約484羽減少(-3%)して、18,150羽と両合計とも2000年以降で最小値となりました。特に最近3年間は減少傾向が続いている状態です。

最大個体数における優占種の上位5種は、トウネン(14.2%)、ミユビシギ(9.7%)、キアシシギ(9.5%)、ハマシギ(9.4%)、ソリハシシギ(8.0%)で、種構成に変動はありませんでしたが、前年はキアシシギが1位だったところ、今年にはトウネンが1位になりました(図2)。

最大個体数の合計では、キアシシギは前年秋と比べて、1,683羽も減少(-39%)し、過去最小を記録した

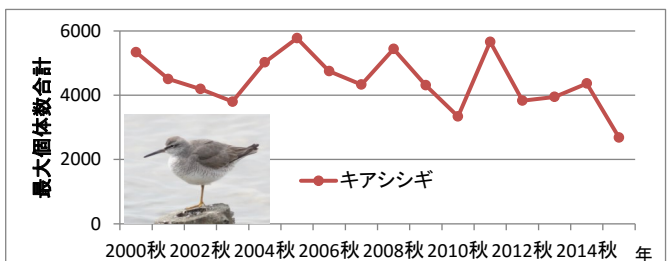


図3. キアシシギの最大個体数合計の推移

ため(図3)、順位を下げていました。キアシシギの他にも、キョウジョシギ(-47%)、タシギ(-40%)、タカブシギ(-26%)が前年と比べて減少の割合が高い種でした。タ



写真1. キョウジョシギ

シギとタカブシギの個体数は過去の変動幅の中に入っていますが、キョウジョシギは経年変化で減少傾向にあり、今回過去最小を記録しました(図4)。非繁殖期のキョウジョシギは、干潟、砂浜、水田、岩礁等の多様な環境を利用するので、このような種が減少傾向にあるということは、非繁殖期の生息環境の悪化というよりは営巣環境が悪化している可能性が考えられます。今後の動向に注意が必要です。

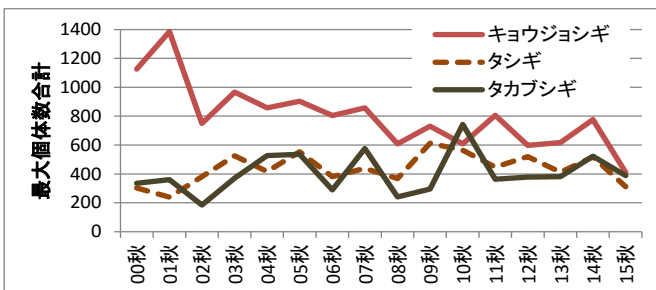


図4. キョウジョシギ、タカブシギ、タシギの最大個体数合計の推移。

局所的に増加している種

過去最小を記録した種がいる一方で、増加傾向を示している種もあります。モニタリングサイト1000の秋期調査結果では、ヒバリシギ、アカアシシギ、セイタカシギは増加傾向にあり、セイタカシギについては過去最大を記録しています(図5)。しかし、この3種は全国的に増加しているというわけではありません。原因については詳しいことはわかりませんが、ヒバリシギ、ア

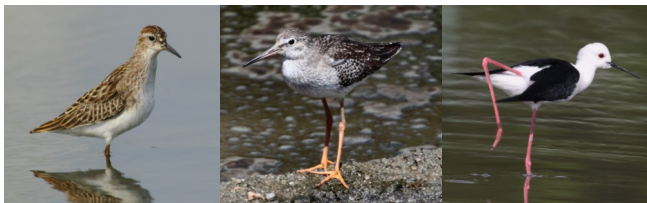


写真2. 左:ヒバリシギ、中:アカアシシギ、右:セイタカシギ (写真:三木敏史)

カアシシギは沖縄本島で、セイタカシギは伊勢湾周辺の地域で局所的に増加しています(図5)。

ヒバリシギ、アカアシシギは沖縄が渡りの中継地点や越冬地になっており、沖縄本島や西日本で記録が多く、東日本では少ない種です。そのため、沖縄本島での個体数の変動がそのまま総数の変動に反映されます。東アジア・オーストラリア地域フライウェイのヒバリシギ、アカアシシギの個体数の増加に伴い(Li *et al.* 2009)、沖縄本島での個体数も増加しているのかもしれませんが。セイタカシギは各地で繁殖が観察されていますが、他の地域では伊勢湾のような増加は見られません。伊勢湾だけ増加傾向を示しているのは、繁殖後の移動分散、渡り、捕食者との関係などが影響しているのかもしれませんが。

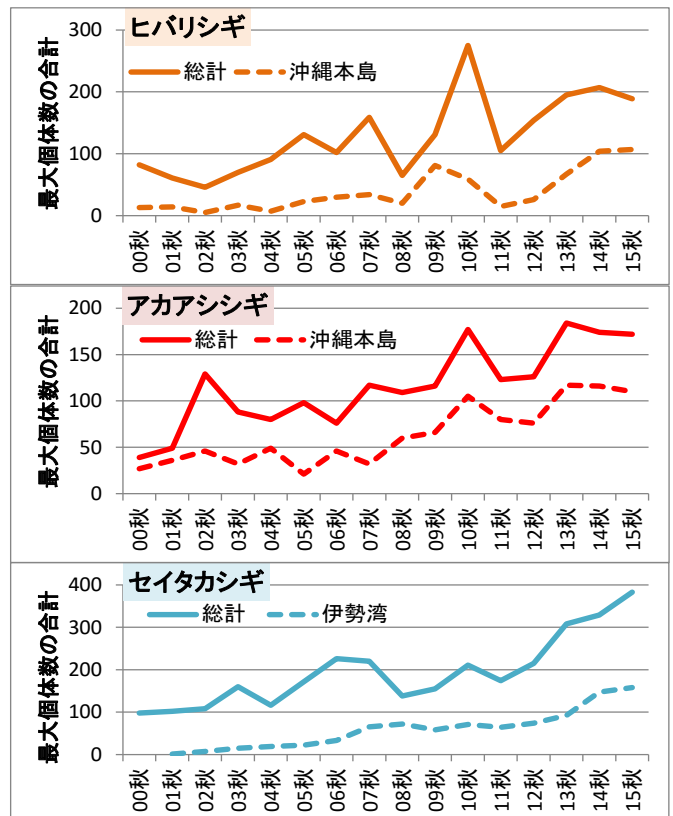


図5. ヒバリシギ、アカアシシギ、セイタカシギの個体数の総計と増加地域の個体数。他の地域では顕著な増加はみられていない。

引用文献: Li, Z.W.D., Bloem, A., Delany S., Martakis G. and Quintero J. O. 2009. *Status of Waterbirds in Asia - Results of the Asian Waterbird Census: 1987-2007*. Wetlands International, Kuala Lumpur, Malaysia.

モニタリングサイト1000 シギ・チドリ類調査 ニュースレター タイトル写真:オグロシギ・エリマキシギ 2015年 秋期概要 (奴賀俊光)

発行元: 環境省自然環境局生物多様性センター <http://www.biodic.go.jp/moni1000/>

編集: 特定非営利活動法人 バードリサーチ <http://www.bird-research.jp/>

編集者 守屋年史・奴賀俊光 電話/Fax:042-401-8661 メール: shigichi@bird-research.jp